



## 2026年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年9月25日

上場会社名 フィードフォースグループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7068 URL <https://www.feedforcegroup.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 塚田 耕司

問合せ先責任者 (役職名) グループ執行役員グループ担当 (氏名) 西山 真吾 TEL 03 (6732) 5488

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年5月期第1四半期の連結業績（2025年6月1日～2025年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第1四半期	1,199	13.9	531	33.5	483	37.5	478	40.6	336	70.8
2025年5月期第1四半期	1,052	△1.2	398	2.3	351	4.7	340	5.4	196	△34.4

(注) 包括利益 2026年5月期第1四半期 335百万円 (70.4%) 2025年5月期第1四半期 197百万円 (△34.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第1四半期	13.68	13.57
2025年5月期第1四半期	7.73	7.62

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額 (販売費及び一般管理費)

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第1四半期	7,445	3,118	40.7
2025年5月期	7,653	3,321	42.0

(参考) 自己資本 2026年5月期第1四半期 3,032百万円 2025年5月期 3,213百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	-	5.00	-	5.00	10.00
2026年5月期	-	-	-	-	-
2026年5月期 (予想)	-	5.00	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,258	8.3	859	12.7	742	11.3	728	14.3	481	20.1	18.81
通期	4,923	12.6	2,096	17.2	1,850	16.2	1,823	19.4	1,200	19.8	47.95

（注）1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額（販売費及び一般管理費）

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年5月期1Q	24,432,158株	2025年5月期	25,033,858株
② 期末自己株式数	2026年5月期1Q	－株	2025年5月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年5月期1Q	24,586,919株	2025年5月期1Q	25,482,441株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料につきましては、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの主要な事業領域である国内インターネット広告市場の2024年の市場規模は、社会のデジタル化を背景に堅調に伸長し、前年比9.6%増の3.6兆円と過去最高を更新しました。総広告費における構成比は47.6%を占め、広告市場全体の成長をけん引しております（出典：株式会社電通「2024年日本の広告費」）。また消費者向け電子商取引（BtoC-EC）市場は、経済産業省が公表した2024年の調査「令和6年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）報告書」によると、国内のBtoC-EC市場の市場規模は前年比1.3兆円、5.1%増の26.1兆円となり、引き続き拡大しております。物販系分野のBtoC-EC市場においては、伸び率はやや鈍化したものの、2024年は前年比3.7%増の15.2兆円と拡大基調が続いております。また、EC化率（全ての商取引市場規模に対する電子商取引市場規模の割合）も前年比0.4ポイント増の9.8%となるなど、BtoC-EC市場は依然として着実な成長を続けております。

当社グループは「『働く』を豊かにする。～B2B領域でイノベーションを起こし続ける～」をミッションに掲げ、「プロフェッショナルサービス事業」、「SaaS事業」、「DX事業」の3セグメントにおいて事業を展開しております。セグメント間のシナジー効果を発揮する組織体制は当社グループの最大の強みであり、それに加えて、収益性・安定性・成長性において異なる特性を有しているため、利益を拡大しつつ成長投資を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、プロフェッショナルサービス事業における安定的な運用体制を構築するとともに、SaaS事業では、人員体制の強化や新規事業開発を通じて、継続的成長に向けた基盤整備に取り組んでまいりました。また、第三の柱となるDX事業においては、連結子会社である株式会社フィードフォースの Omni Hub 事業を、同じく連結子会社である株式会社リワイアへ承継し、DX事業を集約しました。これらにより、既存収益の柱を強化するとともに、エンタープライズ案件の拡大、新市場への展開、新サービスの開発を加速させ、持続的な企業価値の向上を実現してまいります。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、下表の通りとなりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

	2025年5月期 第1四半期 (累計)	2026年5月期 第1四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
売上高	1,052	1,199	146	13.9
EBITDA	398	531	133	33.5
営業利益	351	483	131	37.5
経常利益	340	478	138	40.6
親会社株主に帰属する四半期純損益	196	336	139	70.8

※EBITDA＝営業利益+減価償却費+のれん償却額

セグメント別の経営成績は、次の通りであります。

<セグメント区分について>

セグメント名	所属サービス、所属カンパニー	詳細
プロフェッショナルサービス事業	「Anagrams」アナグラム(株) 「DF PLUS」(株)フィードフォース	デジタルマーケティングサービス (広告マーケティング支援、インターネット広告運用代行、データフィード構築運用)
SaaS事業	「ソーシャルPLUS」(株)ソーシャルPLUS 「CRM PLUS on LINE」(株)ソーシャルPLUS 「dfplus.io」(株)フィードフォース 「EC Booster」(株)フィードフォース	サブスクリプション型ツール提供サービス (ソーシャルログイン・メッセージ配信ツール、データフィード管理ツール、Googleへの商品掲載・広告運用自動化ツール)
DX事業	「Omni Hub」(株)リワイア 「どこポイ」(株)リワイア 「App Unity Xross ID&IDP」(株)リワイア 「Shippinno」シッピーノ(株)	EC事業支援サービス (Shopifyアプリ開発、EC構築支援サービス、IDソリューション、ECの出荷・受注業務自動化ツール)

<セグメント別業績>

(単位：百万円)

		2025年5月期 第1四半期 (累計)	2026年5月期 第1四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
プロフェッショナル サービス事業	売上高	614	751	137	22.4
	営業損益	238	353	115	48.2
SaaS事業	売上高	304	332	27	9.2
	営業損益	128	114	△13	△10.9
DX事業	売上高	134	115	△18	△14.1
	営業損益	△15	14	30	—
合計	売上高	1,052	1,199	146	13.9
	営業損益	351	483	131	37.5

<プロフェッショナルサービス事業>

プロフェッショナルサービス事業では、エンタープライズを中心とした企業に対し、運用型広告代行及びデータフィードマーケティングなどのデジタルマーケティング支援を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、広告運用コンサルタントの運用体制を強化し、サービス提供力を高めた結果、新規顧客の獲得や既存顧客との関係強化による取引規模の拡大につながり、前第1四半期連結累計期間と比較し、増収増益となりました。

<SaaS事業>

SaaS事業では、エンタープライズからSMBまで幅広い企業に対し、セルフサービスで高度なマーケティングが実施できるツールとして、データフィード管理やソーシャルログインシステムなどをSaaSにより提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、既存顧客からの受注拡大に加え、新規サービスにおける顧客の獲得や、LINEメッセージ配信サービス、Shopifyアプリ「CRM PLUS on LINE」の需要が堅調に推移しました。同時に、将来の持続的成長に向けて、人員体制の強化や新事業開発への投資を積極的に進めてまいりました。その結果、前第1四半期連結累計期間と比較し、増収減益となりました。

<DX事業>

DX事業では、主にEC事業者を対象としてShopifyによるサイト構築やShopifyアプリなどの開発・提供を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、「Omni Hub」「どこポイ」をはじめとしたShopifyアプリや、IDソリューション（「App Unity Xross ID」及び「App Unity IDP」）、並びにEC構築支援サービスにおける顧客獲得が順調に推移しました。一方で、前連結会計年度において不採算事業の縮小を行った影響により、前第1四半期連結累計期間と比較し、減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、7,445百万円となり、前連結会計年度末に比べ208百万円減少いたしました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産合計は、6,252百万円となり、前連結会計年度末に比べ173百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が695百万円減少した一方、売掛金が488百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産合計は、1,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が20百万円増加した一方、顧客関連資産が27百万円及び繰延税金資産が14百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債合計は、3,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは主に買掛金が412百万円増加した一方、短期借入金が200百万円及び未払法人税等が188百万円減少したことによるものであります。

（固定負債）

当第1四半期連結会計期間末の固定負債合計は、1,145百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは繰延税金負債が9百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,118百万円となり、前連結会計年度末に比べ203百万円減少いたしました。これは主に資本剰余金が395百万円減少した一方、利益剰余金が211百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年6月26日付「2025年5月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,233	3,538
売掛金	1,734	2,222
前渡金	414	467
その他	58	43
貸倒引当金	△14	△19
流動資産合計	6,425	6,252
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	36	37
その他（純額）	31	32
有形固定資産合計	68	70
無形固定資産		
のれん	216	204
顧客関連資産	501	474
その他	6	5
無形固定資産合計	723	684
投資その他の資産		
投資有価証券	0	20
繰延税金資産	276	262
その他	159	156
投資その他の資産合計	435	438
固定資産合計	1,228	1,193
資産合計	7,653	7,445
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,323	1,735
短期借入金	1,200	1,000
未払法人税等	334	146
賞与引当金	80	42
その他	256	256
流動負債合計	3,194	3,181
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
繰延税金負債	136	145
固定負債合計	1,136	1,145
負債合計	4,331	4,326
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	61	65
資本剰余金	574	179
利益剰余金	2,581	2,792
株主資本合計	3,217	3,036
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3	△4
その他の包括利益累計額合計	△3	△4
新株予約権	108	86
非支配株主持分	0	0
純資産合計	3,321	3,118
負債純資産合計	7,653	7,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
売上高	1,052	1,199
売上原価	324	338
売上総利益	728	860
販売費及び一般管理費	376	377
営業利益	351	483
営業外収益		
受取利息	0	3
助成金収入	0	—
その他	0	0
営業外収益合計	1	3
営業外費用		
支払利息	4	6
支払手数料	1	2
持分法による投資損失	6	—
その他	0	0
営業外費用合計	12	8
経常利益	340	478
特別利益		
新株予約権戻入益	0	27
特別利益合計	0	27
税金等調整前四半期純利益	340	506
法人税、住民税及び事業税	112	147
法人税等調整額	31	22
法人税等合計	143	170
四半期純利益	196	336
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	196	336

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年6月1日 至 2024年8月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年6月1日 至 2025年8月31日）
四半期純利益	196	336
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	197	335
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	197	335
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年6月26日開催の取締役会において、会社法第165条の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式724,700株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が400百万円増加しました。

(自己株式の消却)

当社は、2025年6月26日開催の取締役会において、会社法第178条に基づく自己株式の消却をすることを決議し、自己株式724,700株の消却を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が400百万円、自己株式が400百万円それぞれ減少しました。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
減価償却費	35百万円	36百万円
のれんの償却額	11	11

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年6月1日 至 2024年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロフェッ ショナルサー ビス事業	SaaS事業	DX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	614	304	134	1,052	-	1,052
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	4	-	6	△6	-
計	616	308	134	1,059	△6	1,052
セグメント利益又は損失 (△)	238	128	△15	351	-	351

（注）1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年6月1日 至 2025年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロフェッ ショナルサー ビス事業	SaaS事業	DX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	751	332	115	1,199	-	1,199
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	4	0	5	△5	-
計	751	336	116	1,204	△5	1,199
セグメント利益	353	114	14	483	-	483

（注）1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。